

2020年10月16日
西日本旅客鉄道株式会社

広島駅ビル建替え工事「魅せる仮囲い」第2弾の実施について

JR広島駅では、広島駅ビル建替工事において設置されている工事用仮囲いを、「HIROSHIMA CONNECTING WALL（ヒロシマコネクティングウォール）」と題し、“魅せる仮囲い”として活用した取り組みを進めております。2020年7月から第1弾として「HIROSHIMA PRIDE（ヒロシマプライド）」というテーマで装飾を行ってきましたが、この度第2弾として「広島酒」をテーマに装飾を行い継続的に展開していきます。

1. 第2弾の掲出概要

(1) テーマ・内容



この取り組みのメインコンセプトである「HIROSHIMA CONNECTING WALL」が掲げる広島の誇りや魅力を更に発信すべく、全国的にも酒処として名高い広島が持つ風土や歴史が培ってきた日本酒造りのストーリーや長年広島酒を支えてきた造り人（杜氏）の想いを紹介し、文化の一端に触れていただける内容としております。

(2) 掲出期間、掲出位置、掲出範囲

【掲出範囲】

約324㎡（高さ2.7m×幅120m）

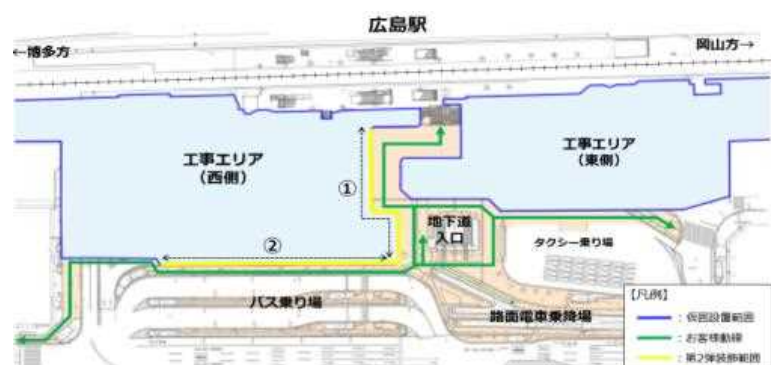
【掲出位置】

右図黄色線参照

【掲出期間】

2020年11月20日～2021年5月頃

(①2020年11月20日～2021年3月頃、②2021年2月19日～5月頃)



※工事の進捗により掲出期間に変更可能性あり

(3) 掲出イメージ (一例)



⇒酒処としての礎を築いた先人達のエピソードや酒造りの歴史を紹介



⇒広島で活躍する酒の造り人である「杜氏」の酒造りへの想いを展開



⇒酒蔵MAPと等身大日本酒写真で色とりどりの装飾行い県内多岐にわたる酒蔵を紹介

※掲出イメージは一部抜粋、デザインは変更の可能性あり

別紙

<本取り組みの全体概要>

(1) 取り組みの目的

工事中仮囲いという本来無機質な壁に装飾を行い、広島への誇りや魅力、それを生み出した DNA をストーリーにして発信していくことで、コミュニケーションの場へと変えていき、国際平和文化都市“HIROSHIMA”の玄関口を彩っていくことを目的としています。

(2) 魅せる仮囲いのメインコンセプト

「HIROSHIMA CONNECTING WALL」

このコンセプトは、広島駅が広島の玄関口にふさわしい新たな賑わいや交流、感動を創出する施設となることを目指し、工事期間中においても地域の皆さまと一体となり街の活気をつくりあげていくために、無機質な壁である工事中仮囲いを活用し、「まち」「ひと」「とき」をつなぐ (CONNECT) コミュニケーションの場へと変えていくという想いを込めています。



(3) 実施期間

2020年7月～2025年頃（工事中仮囲いの切替に伴い実施予定）

(4) これまでの取り組み

- ・第1弾：「HIROSHIMA PRIDE（ヒロシマプライド）」（2020年7月10日～2021年2月頃）

1945年の原爆投下後、「75年は草木が生えない」と言われた広島に現在の力強い復興の歴史と人々の歩みを発信